

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 22.11.11 第 176 回国会第 3 号

11 月 11 日（木）第 3 回の委員会が開かれました。

- 1 防衛施設周辺的生活環境の整備等に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出、第 174 回国会閣法第 27 号）
- ・北澤防衛大臣から提案理由の説明を聴取しました。
 - ・北澤防衛大臣、末松内閣府副大臣、鈴木総務副大臣、安住防衛副大臣、逢坂総務大臣政務官、松本防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
 - ・吉井英勝君（共産）が討論を行いました。
 - ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成 - 民主、自民、公明、社民、国民 反対 - 共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

小原 舞君（民主）

- ・今回の法改正により、特定防衛施設周辺整備調整交付金の使途がいわゆるソフト事業まで拡大されれば、同交付金の使い勝手がよくなる反面、交付金の趣旨が地元住民に伝わりにくくなる懸念がある。地元住民に同交付金を使った事業であることを周知する方策について、防衛省はどのように考えているのか。
- ・特定防衛施設周辺整備調整交付金については、その趣旨から、現在政府部内で検討されている「ひもつき補助金」の一括交付金化の対象とすることは妥当ではないと思われるが、総務省の見解を伺いたい。
- ・2010 年 10 月 29 日に行われた護衛艦「きりしま」の SM-3 発射試験の概要について、防衛省に伺いたい。また、同試験の成功が大きく報道されなかったことを踏まえ、今後の防衛省における広報のあり方についての見解を伺いたい。

下地 幹郎君（国民）

- ・本日（2010 年 11 月 11 日）告示された沖縄県知事選挙の主要候補が、ともに普天間飛行場の県外移設を主張している現状について、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・沖縄県与那国島への陸上自衛隊部隊の配備が報道されているが、当該報道の真偽と当該報道が正しいのであれば何故配備をすることを決めたかについて、北澤防衛大臣に説明願いたい。
- ・我が国のシーレーンを守るためにも与那国島への陸上自衛隊配備のみならず、沖縄県宮古島への海上自衛隊の配備や下地空港の活用なども含め検討すべきと考えるが、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。

木村 太郎君（自民）

- ・今回の法改正により、特定防衛施設周辺整備調整交付金の使途に追加されるソフト事業の例として、学校施設等耐震診断費を挙げている一方で、学校の耐震化費用そのものについて、事業仕分けの指摘を受け、3 分の 1 に減額した現政権の考え方は、矛盾しているのではないのか、北澤防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・青森県車力分屯地に配備されている X バンドレーダーは事実上固定して運用されているにもかかわらず、固定資産を対象とする基地交付金（国有提供施設等所在市町村助成交付金）の対象とされていないことに対し、総務省は実態の状況に即した対応をすべきと考えるが、見解を伺いたい。
- ・中国漁船衝突事案等を受け、島嶼防衛について、日米間で新たなガイドラインを策定すべきと考えるが、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。

岩屋 毅君（自民）

- ・特定防衛施設周辺整備調整交付金の使途のいわゆるソフト事業への拡大は、基地対策事業としての趣旨が伝わりにくくなるのではないのか、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・民主党が行っている事業仕分けの対象に、いわゆる思いやり予算や防衛関連予算が含まれているが、このような分野を事業仕分けの対象とすることについて、北澤防衛大臣は、妥当と考えているのか、見解を伺いたい。
- ・「普天間飛行場の代替の施設に係る二国間専門家検討会合の報告」において、これまで提案されていた V 字案に加え I 字案が提示されたが、新たに追加された滑走路 I 字案を実施する場合、新たなアセスメントが必要となり、移転時期が遅れるのではないのか、防衛省の見解を伺いたい。

たい。

佐藤茂樹君(公明)

- ・今回の改正により、特定防衛施設周辺整備調整交付金の使途に追加されるいわゆるソフト事業の範囲を規定する政令については、政府が決定する前に、当委員会に提示すべきと考えるが、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・アフガニスタンへの医官の派遣について検討を行っているとの報道があるが、正式な派遣要請はあったのか、防衛省に伺いたい。また、派遣する場合、ISAF(国際治安支援部隊)の指揮権との関係はどのように整理するのか、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・2008年に当時野党であった民主党が提出した「国際的なテロリズムの防止及び根絶のためのアフガニスタン復興支援等に関する特別措置法案」においては、「人道復興支援活動」の実施できる地域を「アフガニスタンにおける武装集団が行っている武器を用いた不法な抗争を停止し、及びその停止を維持する旨のアフガニスタン政府と当該武装集団等との間の合意(抗争停止合意)が成立している地域であってそこで実施される活動の期間を通じて当該抗争停止合意が維持されると認められる地域と定めている。現在のアフガニスタンではそのような地域はないことを考えれば、アフガニスタンへ医官を派遣する場合には、以前の民主党の考えが間違っていたことを認めた上で、検討を開始すべきではないのか、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。

吉井英勝君(共産)

- ・航空機搭載への応用のための画像ジャイロの日米共同の

- | |
|--|
| 2 防衛省の職員の給与等に関する法律等の一部を改正する法律案(内閣提出第20号)
・北澤防衛大臣から提案理由の説明を聴取しました。 |
|--|

研究は、どのような理由で実施しているのか、また、同画像ジャイロは、武器であるから、日本側は防衛省の技術研究本部が研究しているのではないのか、防衛省の見解を伺いたい。

- ・先進技術実証機、対空型無人機、画像ジャイロなどの研究は、我が国自身が画像ジャイロ搭載の無人ステルス機の開発を進めていることにならないのか、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・武器輸出三原則に関し、1981年に衆参両院で、その実効ある措置をとることを求める国会決議が行われていることを踏まえれば、武器輸出三原則は国是と言えるものではないのか、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。

服部良一君(社民)

- ・11月5日に名護市長、市議会議長が市議会決議に係る要請行動に対し、内閣府及び防衛省は政務三役が対応しなかったが、何故政務三役が対応しなかったのか、内閣府及び防衛省に伺いたい。また、本件に関し、11月10日の衆議院予算委員会において、菅総理大臣及び仙谷官房長官は、問題があったとの認識を示しているが、北澤防衛大臣はどのような認識を持っているのか。
- ・名護市は再編交付金の申請手続をするため、沖縄防衛局の担当者と面会の約束したが、防衛局側から一方的な取止めの連絡があったとの話を聞いているが、防衛省は事実関係について、どのような認識を有しているのか。